

教科 地理歴史 の目標:

【知識及び技能】課題を追究したり解決する力の元となる基礎学力の定着と資料の読み取り能力の向上をめざす。

【思考力、判断力、表現力等】社会的な見方・考え方を働かせ、異なる考えや文化を認める異文化理解の精神や想像力を育成する。

【学びに向かう力、人間性等】グローバル化する国際社会に生きるうえで、他者を尊重する心と変化に対応していく能力と態度を養う。

科目 地理総合 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や地球的課題への取組などを理解する。	地理に関わる事象の意味や意義、特色などから多面的・多角的に考察したり、考察したことを効果的に説明したり発表したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会をめざす上での課題を主体的に追及していかうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	【地図でとらえる現代世界】 ガイダンス 地球上の位置と時差	教材 ・教科書、地図帳、ICT機器、 自作プリント 指導事項 ・緯度の違いや時差が私たちの生活に与えている影響について理解する	【知識・技能】 緯度・経度の基本的なしくみ、緯度の違いが生活に与える影響について理解している。時差のしくみ、時差が生活に与える影響について理解している。 【思考・判断・表現】 緯度・経度の基本的なしくみ、緯度の違いが生活に与える影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。時差のしくみ、時差が生活に与える影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 緯度・経度の基本的なしくみ、緯度の違いが生活に与える影響について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。時差のしくみ、時差が生活に与える影響について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	4
	【結び付きを深める現代世界】 現代世界の国家と領域 グローバル化する世界	教材 ・教科書、地図帳、ICT機器、 自作プリント 指導事項 国家の領域や国境の決まりについて理解する。 日本の位置や領域、排他的経済水域の特徴について理解する。	【知識・技能】 国境の種類、国家の領域、国家と主権について、日本の位置と領域、排他的経済水域の特徴、日本の領土をめぐる問題について理解している。 【思考・判断・表現】 国境の種類、国家の領域、国家と主権について、多面的・多角的に考察し、表現している。日本の位置と領域、排他的経済水域の特徴、日本の領土をめぐる問題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 国境の種類、国家の領域、国家と主権について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	【国際理解と国際協力】 気温・降水と人々の生活 大気循環と人々の生活 世界の植生と人々の生活	教材 ・教科書、地図帳、ICT機器、 自作プリント 指導事項 気温や降水、風が人々に与える影響について理解する。 世界の植生と気候との関わり合いについて理解する。	【知識・技能】 気候が生活に与える影響、気温の違いとそのしくみ、降水量の違いとそのしくみについて理解している。大気循環と恒常風のしくみ、降水量の地域差と季節変化のしくみ、季節風（モンスーン）のしくみと、これらが生活に与える影響について理解している。 【思考・判断・表現】 気候が生活に与える影響、気温の違いとそのしくみ、降水量の違いとそのしくみについて、多面的・多角的に考察し、表現している。大気循環と恒常風のしくみ、降水量の地域差と季節変化のしくみ、季節風（モンスーン）のしくみと、これらが生活に与える影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 気候が生活に与える影響、気温の違いとそのしくみ、降水量の違いとそのしくみについて、また、大気循環と恒常風のしくみ、降水量の地域差と季節変化のしくみ、季節風（モンスーン）のしくみと、これらが生活に与える影響について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	10

	<p>【国際理解と国際協力】</p> <p>雨温図 熱帯の生活 乾燥帯の生活</p>	<p>教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書、地図帳、ICT機器、自作プリント <p>指導事項</p> <p>雨温図から気候を読めるようにする。</p> <p>熱帯、乾燥帯の気候と植生が人々の生活にどのように関わっているか理解する。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>高温多湿な熱帯の気候・植生と生活との関わりについてと、水の少ない乾燥帯の気候・植生と生活との関わりについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>高温多湿な熱帯の気候・植生と生活との関わりについてと、水の少ない乾燥帯の気候・植生と生活との関わりについて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>高温多湿な熱帯の気候・植生と生活との関わりについてと、水の少ない乾燥帯の気候・植生と生活との関わりについて、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	<p>【国際理解と国際協力】</p> <p>温帯の生活 亜寒帯・寒帯の生活 乾燥した大陸と太平洋の島々での生活（オセアニア） モンスーンの影響を受ける地域での生活（東南アジア）</p>	<p>教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書、地図帳、ICT機器、自作プリント <p>指導事項</p> <p>温帯、寒帯の気候と植生が人々の生活にどのように関わっているか理解する。</p> <p>オセアニアや東南アジアの人々の暮らしと自然環境の関わりについて理解する。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>四季のある温帯の気候・植生と生活との関わりについてと、冬が長い亜寒帯の気候・植生と生活との関わり、雪と氷に覆われる寒帯の気候・植生と生活との関わりについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>四季のある温帯の気候・植生と生活との関わりについてと、冬が長い亜寒帯の気候・植生と生活との関わり、雪と氷に覆われる寒帯の気候・植生と生活との関わりについて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>四季のある温帯の気候・植生と生活との関わりについてと、冬が長い亜寒帯の気候・植生と生活との関わり、雪と氷に覆われる寒帯の気候・植生と生活との関わりについて、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
2 学 期	<p>世界の言語・宗教と人々の生活 イスラームと人々の生活の関わり ヒンドゥー教と人々の生活の関わり</p>	<p>教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書、地図帳、ICT機器、自作プリント <p>指導事項</p> <p>イスラームやヒンドゥー教が、人々の生活にどのような影響を与えているか理解する。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>イスラームによるムスリムの生活への影響、地域によって異なる言語と生活習慣について理解している。</p> <p>石油収入がもたらした生活の変化、イスラームの教えと国際化への対応、地域が抱える課題について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>イスラームによるムスリムの生活への影響、地域によって異なる言語と生活習慣についてや、ヒンドゥー教が人々に与える生活への影響、南アジアの民族とその歩み、多様な言語と生活文化への影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>イスラームによるムスリムの生活への影響、地域によって異なる言語と生活習慣について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p> <p>ICT産業の発展や経済成長による生活の変化、それによる農業への影響と残された課題について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1

3 学 期	移民の歴史と人々の生活の関わり (ラテンアメリカ) 植民地支配の歴史と人々の生活の関わり (サハラ以南アフリカ)	教材 ・教科書、地図帳、ICT機器、 自作プリント 指導事項 様々な民族の流入や植民地支配の 歴史が、人々の生活文化にどのよ うな影響を与えているか理解す る。	【知識・技能】 ①多様な民族や文化が混ざり合う社会、大土 地所有制による農業と社会構造について理解 している。 【思考・判断・表現】 多様な民族や文化が混ざり合う社会、大土地 所有制による農業と社会構造について、多面 的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 国家体制の転換と人々の生活の変化、ロシア の文化と多様な民族について、よりよい社会 の実現を視野に、そこでみられる課題を主体 的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	9
	国家体制の変化と人々の生活の関わり (ロシア)	教材 ・教科書、地図帳、ICT機器、 自作プリント 指導事項 国家体制が激変したロシアでは、 人々の生活にどのような変化が生 じたのか理解する。	【知識・技能】 ダーチャが支える食生活、経済成長と産業の 変化・格差の拡大について理解している。 【思考・判断・表現】 ダーチャが支える食生活、経済成長と産業の 変化・格差の拡大について、多面的・多角的 に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ダーチャが支える食生活、経済成長と産業の 変化・格差の拡大について、よりよい社会の 実現を視野に、そこでみられる課題を主体 的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
							合計
							78